

会津若松市における 地方創生関連施策の成果と今後の方向性



平成 2 8 年 7 月 2 5 日
会 津 若 松 市

まち・ひと・しごと総合戦略の概要

5つの基本戦略を核としてまち・ひと・しごとの創生をし、
地域の豊かさを市民や本市を訪れた人々が実感できるまちを目指す

伝統とICTを 融合させた まちづくり

- ▶歴史・伝統を活かしたまちなかの魅力的な景観づくり
- ▶ICTを活用した市民生活の利便性の向上
- ▶都市OSの形成

既存産業資源を発 展させた しごとづくり

- ▶バイオマス発電と林業の活性化
- ▶エネルギーの地産地消の推進
- ▶農業の高付加価値化の推進（スマートアグリ）

アナリティクス産業 ICT関連企業 の集積

- ▶アナリティクス・セキュリティ人材の育成
- ▶アナリティクス産業・ICT関連企業の集積

観光による 地域連携と 交流促進

- ▶データに基づく観光施策の推進
- ▶外国人誘客に向けたプロモーション施策
- ▶未来人材育成の推進

結婚・出産・子育て 支援と教育環境の 整備

- ▶結婚・出産・子育て支援の推進
- ▶ICTを活用した教育環境の拡充
- ▶デジタル未来アート事業



データ×アナリティクス＝スマートシティ会津若松
市の推進する各事業データ収集・基盤環境整備の推進



スマートシティ会津若松

＝さまざまな分野においてICTを活用した産業創出・人材育成

⇒実証地域として、地方創生のモデル都市となり、他の地域へ展開可能なモデルとなることを目指す

まち・ひと・しごと創生包括連携協議会

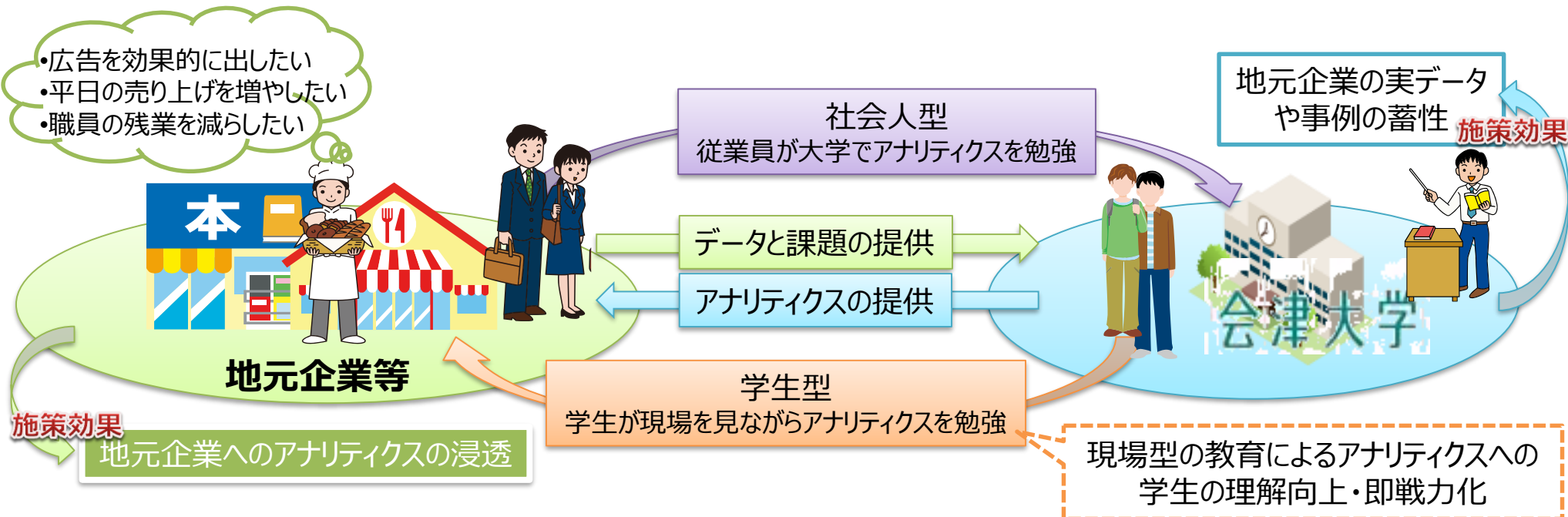
- 会津若松市における“産官学金労言”一体となった地方創生を推進するために、平成27年7月に設立
- “地方創生関連施策の実施体制”と“地方創生関連施策の進捗管理・PDCAの実施”が主な役割



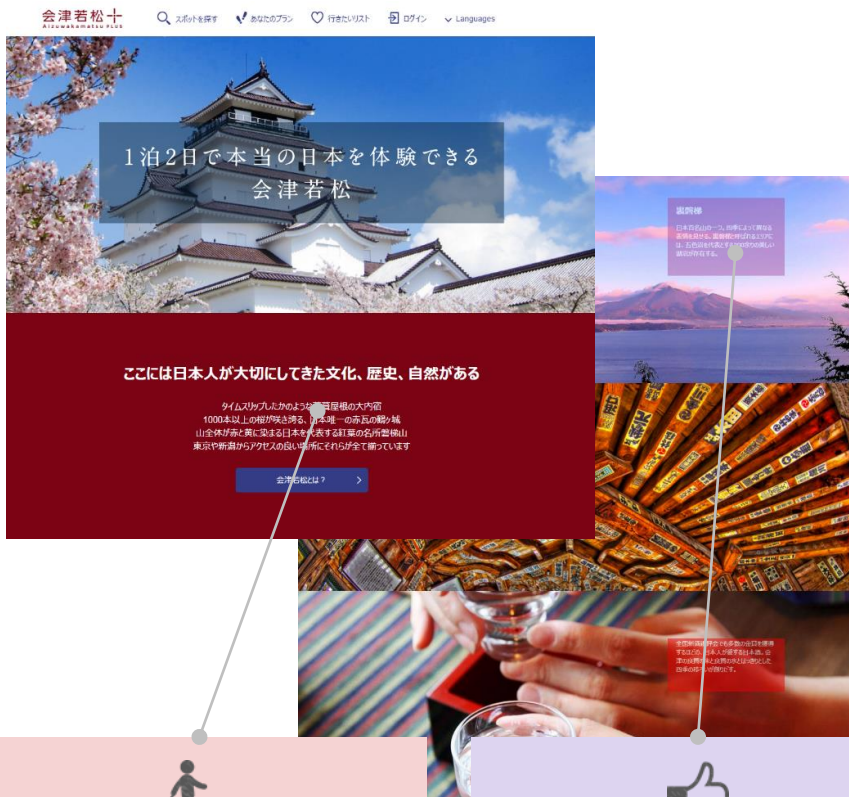
- 一体的に取り組むことで企業間連携等が生まれることを期待（縦割りに発注をしない）
- 会津への思いのある取組を期待（単なる受発注の仕事で終わらない取組）


地方創生関連の取組のご紹介


アナリティクス関連			セキュリティ関連	
アクセンチュア			リオンドール 地域ベンチャー	シマンテック
学生向け基本講座	学生向け専門講座	社会人向け講座	現場型 学生向け専門講座	サイバーセキュリティ演習 (学生・社会人 両方対象)
170名程度	10-20名×前・後期	20名程度	ゼミ単位	30-35名
アナリティクスに興味を持ってもらうための講座	基本講座で興味を持った学生を専門的に教育する講座	地元を含めた全国の企業を対象としたアナリティクス講座	実際の店舗を見たり、売上を確認したりしながら、アナリティクス人材の実際の仕事を体験	座学から、仮想環境での実務的なサイバー攻撃・防御双方の演習まで実施する講座 Wi-Fiにおけるセキュリティ等の最新の動向も踏まえた演習を実施




- 国籍ごとの嗜好性を反映し、選択言語や訪問時期により異なる観光コンテンツを提示するインバウンドサイト
- 今年度は会津地域の7自治体で連携してコンテンツ充実や周遊ルート策定を実施
- 会津若松観光ビューローは観光庁の日本版DMOに登録済
- 東京オリンピックにおいては、タイのホスト・タウンに立候補





外国人旅行客を呼びこむ
会津若松の強みの表現


ユーザーの国籍にあわせた
観光スポットの出し分け




二次交通まで考慮した
最適な旅行プランの提案




店舗メニューの明確化・
観光客の生の声の収集

～勦と経験を蓄積するデータ農業～

東京農業大学及びイオンリテール(株)と連携し、ICTを活用しながら、生産・流通・販売までの消費者の手に渡るまでのすべてのデータを分析し、農業の高付加価値化を目指す。

新規就農者の増加



若手農家による
ICTを活用した生産



取得
データ

温度・湿度・照度・CO2濃度
土中温度/湿度/養分
農薬散布量/生産履歴 等

会津産農作物の高付加価値化・ブランド化



温度・湿度・震度

温度・湿度

東京農大が全体を監修・指導
イオングループのマーケティング力を生かした改良

低カリウムレタス工場（ICT×農業）

～工場でICTを活用して作った野菜～

- 半導体製造用クリーンルームを利用したレタスの水耕栽培
- 管理された水耕栽培による、低カリウムレタスという高付加価値商品（腎臓病患者向け等）

低カリウムレタス



- ・苦味やえぐみが少ない
- ・ほぼ無菌なので洗わないで食べられる
- ・ほぼ無菌なので2週間～1か月の長期保存が可能



今後、オタネニンジン（朝鮮人参）等の栽培品種を増やすことも検討中



会津産野菜の再興・ブランド化・安定的生産へ

事業概要

➤ 市民等にとって必要な地域情報をワンストップで取得可能

⇒ サービスごとのウェブページを持たない

➤ 個人の属性情報（年齢・性別・家族構成・趣味嗜好等）を踏まえ、その人にとって必要な情報をピックアップしてレコメンド表示

⇒ 自分専用のウェブページで必要な情報を「会津若松+」が積極的に提示



市民と行政・地域の
コミュニケーション率が上昇

① 属性情報や希望・要望に応じたコンテンツを提供

③ カレンダー・グラフ・地図などを用いてわかりやすく情報提供




⑤ 重要な文書は「MyPost」でやりとり

④ マルチデバイス対応

② 個人の属性情報に基づき“おすすめ”コンテンツを表示



「会津若松+」上に、市民目線で便利になるようなさまざまな機能を実装（継続的に追加予定）

My Post	ネット上の自分専用の郵便受けであるMy Postを会津若松+上で利用可能 市政だよりを始め様々な情報をMy Postで配布中	
除雪車位置情報サービス	市民ニーズの高い除雪車のリアルタイム位置情報を地図上に掲載	
Free Wi-Fiスポット情報	市で無償提供しているFree Wi-Fiの位置情報・店舗情報を掲載	
イベントカレンダー（申込も可能）	会津若松市内のイベント情報を表示 チームラボイベント（お絵かきタウン）と未来人材育成塾のイベント申込も実施	
民間企業の情報提供	リオンドールの特売チラシ情報を掲載	
	福島民友ニュースを掲載	

※今後、医療分野（PHR）や教育分野（学校情報）の情報を簡単に市民が受け取ることのできるサービスの実装も検討中

- 人口に対して総合病院が多く、医療が充実している本市で実証
- 治療（事後対処）から予防医療（ヘルスケア）へ
- データに基づく健康アドバイスを実施

✓健康情報を個人が管理することのできる基盤を構築
⇒個人の意思で健康データ（個人情報）を提供し、
健康サービスを受ける

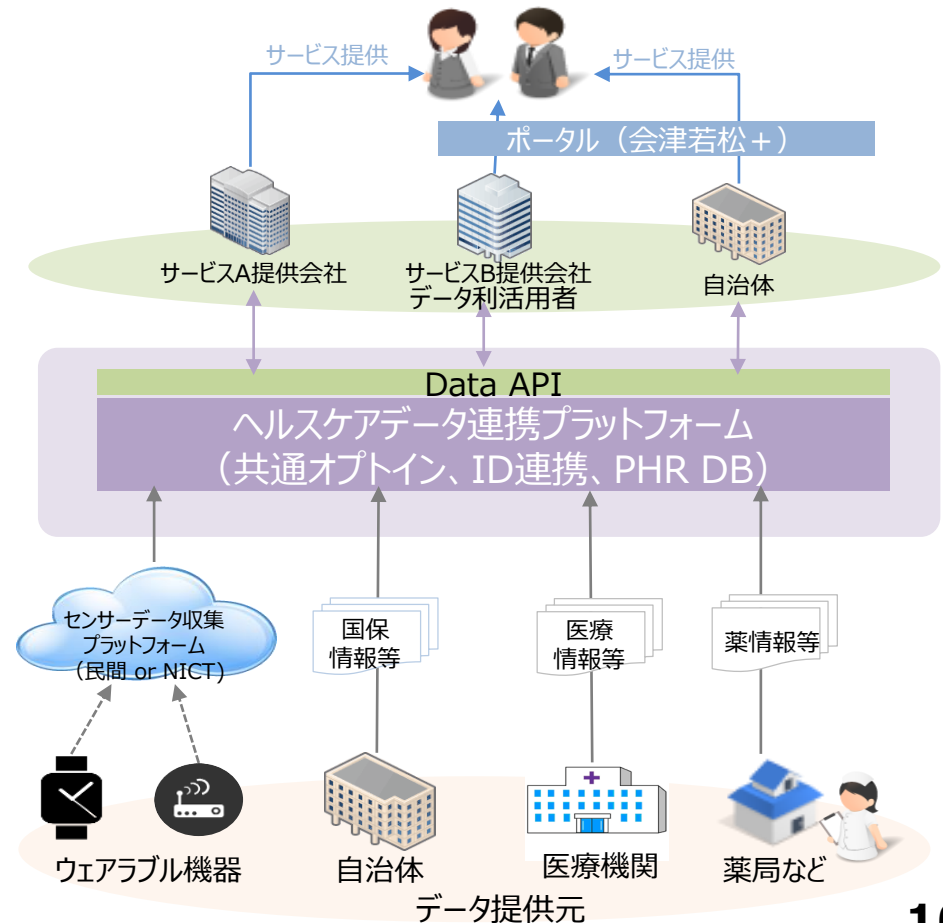
✓ウェアラブル端末やセンサー付きベッド/薬箱等を活用
⇒健康データを自己申告ではなく、客観的に取得

✓拡張性のある（今後、様々なセンサ等が追加可能）
なプラットフォームを構築
⇒全国への展開可能性



- ✓治療から予防医療への移行で医療費削減
- ✓会津発の革新的な健康サービス産業を創出

事業全体イメージ



～過疎地でも、どこでも授業がリアルに受けられる～

- 遠隔教育や離れた学校間の連携など、教育空間の共有
⇒実物大で立体的（長方形の2辺分）を投影するため、遠くにいる人でも距離を越えてすぐ隣にいるかのような感覚
- 教育分野でのICTの利便性を体感する取組



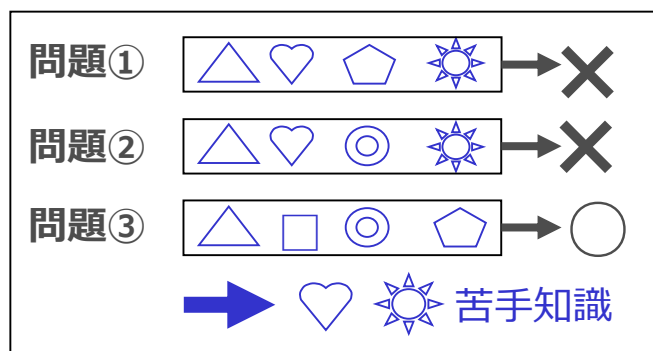
← 7月15日に東京のJICAによる
遠隔の授業を実施

～自動家庭教師システム～

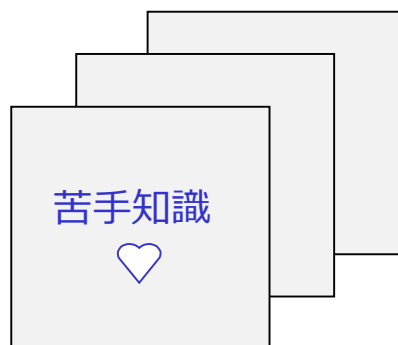
- 二つのアルゴリズムで、児童ひとりひとりに最適な問題を出題
- 市内小学校で国語及び算数でトライアル導入

アルゴリズム①

ひとつの問題を複数の知識情報の束と捉え
児童個々人の苦手知識（つまづきポイント）を洗い出す



今取り組んでいるドリル



過去取り組んだドリル

苦手情報

習熟度・頑張り度
の蓄積・解析

問題の
難易度情報

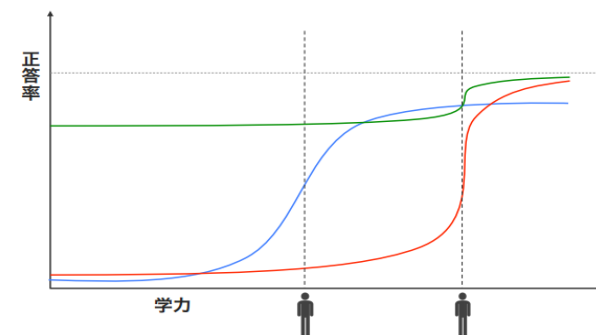
問題の出しわけ

レコメンド

LMS

アルゴリズム②

- ・利用者の回答と全体の回答を比べ、
個々人の学力 = 理解度を動的に推定
- ・各利用者の学力と問題正答率から
個々の問題の難易度を動的に設定



- 子ども達に最先端のICT体験をさせることで、将来のICT人材の育成・輩出に繋げる
- 同時に、子供を連れてくる親にもICTの面白さを伝えることで、市民全体のICT・スマートシティに対する理解（素地）づくりを推進
- チームラボのみならず、地元のITベンチャーも同時に出展



Point

- ・集客力のあるコンテンツを活用し、冬場の新たな観光客誘致
- ・ICTに子どもやその保護者、さらには市民全員に触れてもらうことでスマートシティの素地づくりを推進

平成27年度 3月12日～29日で開催
⇒1万4千人以上の来客あり

ICT関連企業集積のためのオフィス環境整備（アナリティクス産業集積）

～東京と同じ仕事・同じ賃金で地方を満喫～

スマートシティの中心となるICT関連企業を東京等から誘致するためのオフィス環境整備を民間企業と協力しながら実施するもの。

- しごと 地域の雇用創出
- ひと 会津大学卒業生などのICT人材の地域定着 = 若者の東京への流出防止
- まち ICT関連企業・データ分析産業を集積することで新しいまちづくりを推進
= 会津のブランディング（データ分析のメッカに！）

連携施策

ふるさとテレワーク事業



サテライトオフィス整備事業



ICT専門ビルへの入居見込み企業が
会津でのテレワーク（企業移転）を
体験・実証できる環境を構築

 PASONA
がサテライトオフィスに
入居中



会津若松市の地方創生のカギとなる事業

ICT産業集積の象徴となる事業（地方自治体としてのICT集積の一つの出口）